

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
2023年度研究助成募集要項

1. 助成の趣旨

塩資源として岩塩をもたず、また高温多雨のため海水を天日で蒸発させて塩をつくることに適していない日本では、海水から安く良質な塩をつくる技術を確立させてきました。こうした技術をさらに改善、応用し、新規に開発することは国内塩産業の一層の発展に大きな役割を果たすと期待されます。そして、製塩のもととなる海には、さまざまな資源があり、その海水を利用し、守るための技術を開発することは持続可能な社会へ向けた礎となると考えます。

また、塩の人体での生理作用を理解することは健康的な生活を送るためのガイドとなります。同様に、塩の食品における働きを知ることは食品の加工・調理・保存法の向上につながります。こうした知識を増やすことで私たちの生活をより豊かにすることが可能となります。さらに、今まで塩の関与が知られていなかった領域にも研究の幅を広げることにより、塩の新たな価値を見出すことも期待します。

ソルト・サイエンス研究財団は、これらの研究の助成を行うことにより、日本の塩産業の振興と基盤の強化に寄与し、広く日本経済・文化の進展と国民生活の充実に資していきたいと考えています。

2. 助成の対象

一般公募研究

助成期間：2023年4月1日から2024年3月31日（1年間）

分野：理工学、医学、食品科学の3分野

*財団が応募を期待する分野別の助成対象領域を別紙1に示します。

3. 募集件数及び研究助成金額

募集区分	募集分野	件数(案)	助成金額
一般公募研究	理工学	18 件程度	120万円以下
	医学	15 件程度	
	食品科学	16 件程度	
合計		49 件程度	

- ・研究助成金は、原則として研究者が所属する機関への寄附金として交付します。
- ・研究助成金は、研究者及び共同研究者の person 費への充当は認めません。所属する機関の一般事務管理費等の間接経費は原則として助成の対象外です。

4. 応募資格

- ・日本国内の大学、公的研究機関等で研究に携わる人(学生・研究生等を除きます)
特に、若手研究者、女性研究者の積極的な応募を期待します。
- ・財団からの助成回数に制限はありません。過去の助成回数にかかわらず応募が可能です。
- ・一般公募研究は年度毎に募集・選考を行います。3年間まで連続して助成を受けることができます。
(2020年度から3年間連続して一般公募研究助成を受けた方は、一般公募研究への応募はできません。)

5. 応募方法

応募要領にもとづき、所定の書式に記入のうえ、書面により提出してください（提出部数5部）。

6. 応募期間

2022年10月25日(火)～2022年11月25日(金)（締切日財団必着）

7. 提出先

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
〒106-0032 東京都港区六本木 7-15-14 塩業ビル 3階
Tel: 03-3497-5711

8. 選考結果の通知・公表

財団の研究運営審議会による審査・選考を経て、理事会で決定し、2023年3月下旬に採否を応募者へ書面で通知します。採択した研究については、財団のウェブサイト等で公表します。

9. 採択された研究者の義務

- 1) 財団との間で研究助成に関わる覚書を交わし、これに基づいて研究を実施していただきます。
- 2) 研究助成開始時に、研究実施計画書等の書類を提出していただきます(2023年4月)。
- 3) 助成終了後、研究成果に関する書類のほか、会計報告書を提出していただきます(2024年5月)。
- 4) 財団が開催する一般公開の助成研究発表会で発表していただきます(2023年度助成分については2024年7月30日(火)に東京において開催)。必ず採択された研究者ご本人による発表をお願いします。

10. 個人情報の取り扱い

この募集に関連して財団が取得する個人情報は、応募受付から選考、採否決定通知など、選考に関する一連の業務に必要な範囲に限定して利用します。

【参考】応募数と採択実績

助成年度	応募数	採択数	採択率	一般公募分野別採択率
2021年度	148件	62件 (一般公募研究51件、 プロジェクト研究11件)	42%	理工学 44% 医学 35% 食品科学 31%
2022年度	118件	59件 (一般公募研究43件、 プロジェクト研究16件)	50%	理工学 48% 医学 41% 食品科学 50%

別紙1 2023年度一般公募研究助成対象研究領域

分野共通*

(助成対象) 塩類摂取量評価法の開発に関する研究

(研究課題の一例)

- ・食塩摂取量のモニタリングデバイスの開発
- ・食塩やカリウム摂取量の医学的評価法の開発
- ・食品からの食塩摂取量の簡便な推計法の開発

*申請の際は、理工学、医学、食品科学分野のいずれかで応募ください。

理工学分野

(助成対象)

海水資源の利用技術の開発、新規製塩法の開発、海水に関わる環境保全・改善、塩害対策、塩類摂取量評価に向けた研究が望まれます。

(研究分野)

製塩、海水資源利用、海水淡水化、沿岸環境、海水ろ過、イオン交換、晶析、分離法、抽出法、濃縮法、乾燥法、結晶化、分析法、電気化学、腐食・防食、水質浄化、センサー、包装材料、その他

医学分野

(助成対象)

塩類の摂取が生活習慣病の発症に及ぼす影響を明らかにする研究、Quality of Life を高めるための塩類の役割を明らかにする研究が望まれます。

(研究分野)

疫学、臨床、生理・生化学、遺伝子、栄養、運動生理、味覚、その他

食品科学分野

(助成対象)

食品の加工・調理・保存において、塩は不可欠な素材であり、健康で豊かな食生活を送る上での塩の役割を明らかにする研究が望まれます。

(研究分野)

食品の加工、食品の調理、食品の物性、食品の保存、食品衛生、食品栄養、酵素、味覚、嗜好、発酵食品、機能性食品、その他

過去に採択された助成研究課題は財団ホームページを参照してください

(参考資料) 公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団案内

概要

人間の生命維持に不可欠であり、また各種工業用原材料として重要な役割を持つ「塩」について、様々な分野において研究を行っている大学・公的研究機関の研究者に対し、専門家で構成される委員会による公正な審査・選考に基づき、助成金の交付を行っております。

なお、得られた助成研究成果については、助成研究報告集の発行や助成研究発表会の開催などにより公開しております。

1. 目的

塩に関する研究の助成、塩に関する情報の収集及び調査研究等を行うことにより、我が国塩産業の振興と基盤強化に寄与し、もって広く我が国経済・文化の進展と国民生活の充実に資することを目的としています。

2. 事業

前記の目的を達成するために、以下の事業を行います。

- (1) 製塩技術に関する研究、塩の生理作用に関する研究、その他の塩に関する研究の助成
- (2) 塩に関する情報の収集及び調査研究
- (3) 塩に関する研究発表会、シンポジウム及び講演会の開催
- (4) 関係学会及び調査研究機関との協力・提携
- (5) 前各号の事業に附帯する事業、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3. 沿革

日本たばこ産業株式会社(塩専売事業勘定)ほか 21 団体の出捐により、財務省(当時は大蔵省)所管の財団法人として、1988 年 3 月 30 日に設立されました。

2009 年 11 月に公益法人改革三法に基づく移行認定を受け、同年 12 月 1 日より内閣府所管の公益財団法人となりました。